

飼料用米栽培マニュアル

Ver.2



令和6年3月
宮城県

目次

1	飼料用米について	1
(1)	はじめに	1
(2)	飼料用米生産に対する支援制度	1
(3)	多収品種について	2
2	宮城県内の作付及び生産の動向	3
(1)	飼料用米の作付面積の推移	3
(2)	飼料用米の需要量及び生産量	4
3	飼料用米の流通について	4
(1)	出荷・供給先	4
(2)	J Aグループ宮城の取組	4
4	飼料用米の品種選定と安定多収栽培のポイント	5
(1)	多収品種による取組	5
(2)	一般品種による取組	12
(3)	飼料用米向けの多収品種（知事特認品種）「東北211号」栽培ごよみ	13
5	異品種混入（コンタミ）対策	14
(1)	漏生イネの対策	14
(2)	収穫時の対策（コンバイン）	17
(3)	乾燥・調製時の対策	17
6	省力・低コスト栽培技術	21
(1)	堆肥の利用（低コスト化技術）	21
(2)	乳苗・疎植栽培（省力・低コスト化技術）	23
(3)	直播栽培	26
(4)	流し込み追肥	29

(5) 立毛乾燥	31
7 地域の利用促進に向けて	33
(1) 飼料用米の給与の目安	33
(2) 乳用牛への給与方法	33
(3) 肉用牛への給与方法	34
8 飼料用米生産におけるコスト低減事例	37
(1) 乾田直播栽培による実証事例	37
(2) 湛水直播栽培による実証事例	38
(3) 乳苗移植栽培による導入事例	38
9 参考資料	39
(1) 飼料用米に使用できる農薬と留意点	39
(2) 農産物検査規格	39
(3) 多収品種種子の問い合わせ先	42
(4) 飼料用米生産対策現地実証試験（平成 26～28 年）の結果	43
(5) 宮城県が栽培適地に含まれる多収品種の特性（国の育成品種）	46

○本冊子における用語の定義

「多収品種」は国や各県で育成した多収の品種であり、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」において定められているものを指します。

「一般品種」は主食用米で用いられる一般の品種であり、上記「多収品種」に該当しない品種は、多収であっても「一般品種」とします。

使用上の注意点（農薬関連）

このマニュアルに掲載した農薬は原稿作成時の登録（令和 6 年 1 月）に基づいていますので、使用する場合は、最新の登録情報を確認して下さい。

1 飼料用米について

(1) はじめに

本県では、需要に応じた米の生産販売及び水田をフル活用した農家所得の向上と競争力の高い宮城の水田農業の実現に向けて、宮城県水田収益力強化ビジョンを策定し、作物ごとに取組方針を定めております。その中で飼料用米は稲態様の主要な転換作物となっており、令和5年産では大豆に次いで取組面積が多く、配合飼料価格が高騰する中で、国の動向も見ながら、品質の向上や収益性の確保に向け、多収品種への作付誘導や低コスト生産の取組を支援することとしております。これらの取組を円滑に推進するため、水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成や産地交付金（県設定枠）により継続して支援しているところです。

国では、「食料・農業・農村基本計画（令和2年3月）」において、地域に応じた省力・多収栽培技術の確立・普及を通じた生産コストの低減を実現するとともに、バラ出荷等による流通コストの低減、耕畜連携を推進するとしており、飼料業界等が求める米需要に応えられるよう、生産拡大を進めることとし、生産と実需の複数年契約による長期安定的な取引の拡大等を推進するとしています。

そのような中、飼料用米に対する戦略作物助成について、国は主食用米への回帰を防ぎつつ、多収品種を基本とする本来の支援体系への転換のためとして、一般品種に対する取組について支援水準を令和6年産から令和8年産にかけて段階的に引き下げることにしました。

そこで、宮城県では国の支援内容の見直しに伴い、平成29年に発行した「飼料用米栽培マニュアル」を更新しました。本マニュアルが飼料用米に取り組む生産者の一助となりますことを願っております。

(2) 飼料用米生産に対する支援制度

1) 水田活用の直接支払交付金のうち戦略作物助成

令和6年産から飼料用米の戦略作物助成が見直しとなり、多収品種の飼料用米の交付単価は10.5万円/10aを上限に数量に応じて交付されますが、一般品種については上限単価が令和6年産から令和8年産にかけて1万円/10aずつ減額され、令和8年には7.5万円/10aとなります。また、一般品種の標準単価についても同様に5,000円/10aずつ減額され令和8年には6.5万円/10aとなります。

表1 飼料用米生産に対する支援単価の変更スケジュール

	令和5年産	令和6年産	令和7年産	令和8年産
一般品種 (引き下げ)	数量に応じて 5.5～10.5万円 (標準単価8.0万円)	・数量に応じて 5.5～9.5万円 (標準単価7.5万円) ・または、単価7.5万円	・数量に応じて 5.5～8.5万円 (標準単価7.0万円) ・または、単価7.0万円	・数量に応じて 5.5～7.5万円 (標準単価6.5万円) ・または、単価6.5万円
多収品種 (単価維持)	数量に応じて 5.5～10.5万円(標準単価8.0万円)			

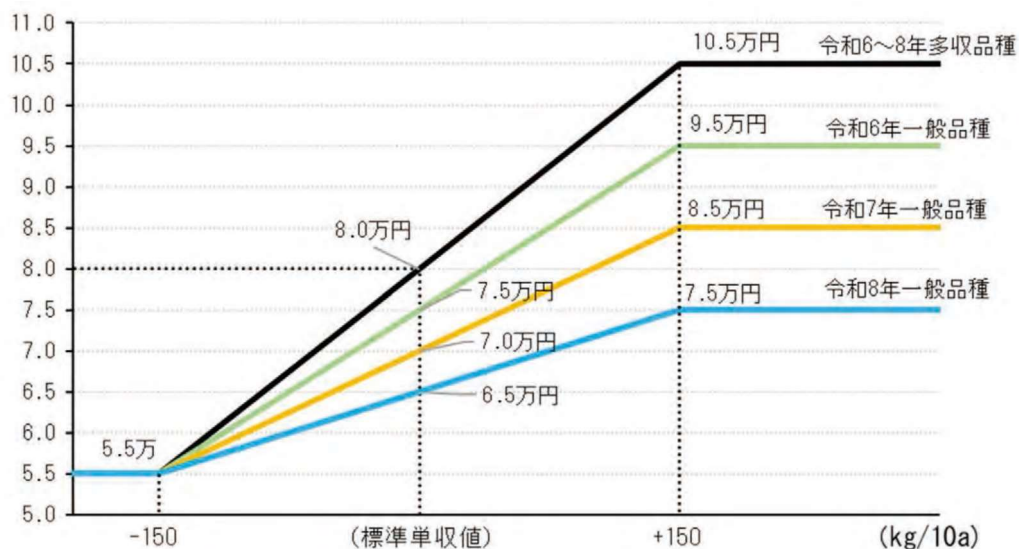


図1 飼料用米の収量と交付単価の関係（イメージ）

2) 産地交付金による助成（県設定枠）

県設定枠の単価は表2のとおり10a当たり3,000円を設定しています。

表2 産地交付金（県設定枠）による交付単価（円/10a）

飼料用米の低コスト生産助成	交付単価	
	令和5年	令和6年 (予定)
	3,000	3,000

3) その他

各市町村の地域農業再生協議会によって、産地交付金の地域設定枠で支援されていることがあります。

(3) 多収品種について

多収品種とは、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」において、①国の委託試験等によって育成され、一般品種と比べ子実の収量が多いことが確認された21品種（表3）、②一般的な品種と比べて子実の収量が多く、当該都道府県内で主に主食用以外の用途向けとして生産されているもので、全国的にも主要な主食用品種でないもののうち、都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認めるものと定められています。

表3 国が定める多収品種（需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領 抜粋）

いわいだわら、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、べこあおば、べこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば、笑みたわわ、亜細亜のかおり

表4 宮城県において栽培可能な多収品種（令和5年10月時点）

	多収品種（①）	知事特認品種（②）
宮城県	いわいだわら	東北211号
	ふくひびき	
	べこあおば	
	べこごのみ	
	夢あおば	

注) ①は主に耐冷性の面から国が栽培可能として示している品種であり、表以外の作付を制限するものではない。

2 宮城県内の作付及び生産の動向

(1) 飼料用米の作付面積の推移

宮城県内の飼料用米の作付面積は、コロナ禍における主食用米の需要減少の影響等から令和3年に飼料用米への転換拡大に向けた取組強化を行い、大幅に増加しました。その後も主食用米の過剰在庫の解消に引き続き取り組んだことから、作付面積を維持しており、稲態様転作作物として主食用米の需給調整機能を発揮しております。

また、本県の特徴としては、飼料用米作付面積に占める多収品種の割合が12%（令和5年産）となっており、全国平均の42%より低く、東北地域の中で最も低い水準となっています。

表1 飼料用米及び多収品種の作付面積

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
宮城県	飼料用米作付面積(ha)	5,553	4,871	4,913	8,076	10,416	9,801
	うち多収品種(ha)	1,201	1,158	1,048	893	1,016	1,141
	〃 割合(%)	22	24	21	11	10	12
	うち東北211号(ha)	360	231	123	113	152	303
(参考)	青森県 多収品種割合(%)	79	83	84	60	60	79
	岩手県 〃	83	85	87	79	77	79
	秋田県 〃	63	67	63	32	29	36
	山形県 〃	85	87	86	67	69	76
	福島県 〃	39	40	37	23	19	22

注1) 飼料用米作付面積及び多収品種作付面積は国公表データより

注2) 「東北211号」の作付面積はみやぎ農業振興公社の種子配布実績から4kg/10aとして面積換算

(2) 飼料用米の需要量及び生産量

令和4年度における全国の飼料用米の需給の状況は、需要が156万トン(うち畜産農家21万トン、配合飼料メーカー135万トン)あるのに対し、生産量は80万トンとなっています(農水省穀物課調べ)。

本県の飼料用米の生産量は、令和5年産は約5万3千トンとなっており、全国の7.4%を占めています。

表2 飼料用米の生産量 (万トン)

	令和3年	令和4年	令和5年
全国	66	80	72
宮城県	4.4	5.6	5.3

注) 全国の生産量は、農林水産省穀物課調べ。宮城県の生産量は、作付計画面積に地域別の基準単収を乗じたもの。

3 飼料用米の流通について

(1) 出荷・供給先

宮城県で生産された飼料用米は、令和4年産の生産量約5万6千トンのうち、約5割の約2万8千トンは農協等の全国生産者団体、残りが民間飼料会社へ出荷されています。

出荷された飼料用米は、主に石巻市、塩竈市に立地する配合飼料工場へ運搬され、畜種別に適した配合飼料に加工・配合された上で、各畜産農家へ供給されています。

また、販売先や保管場所の確保、生産地から飼料工場への運送コスト等の課題があったことから、JAグループが課題解消に向けた取組を進めています。

(2) JAグループ宮城の取組

飼料用米の需要に応じた生産に向けて、多収品種の種子の確保、販売価格変動リスクの軽減に努め、安心して飼料用米生産を行えるよう取り組んでいます。

流通段階では、全農による全国ベースの一元管理により、輸送・保管の効率化が図られており、コストの削減がすすめられています。

4 飼料用米の品種選定と安定多収栽培のポイント

飼料用米の戦略作物助成は数量に応じた支援となっているため、所得向上を目指すためには多収品種による取組や、多収に向けた栽培管理に留意が必要です。

(1) 多収品種による取組

1) 多収品種の特性

宮城県で栽培されている多収品種は、「東北 211 号」、「夢あおば」、「べこあおば」等がありますが、このうち、宮城県古川農業試験場で育成した「東北 211 号」及び国が育成した「夢あおば」の 2 品種の品種特性について紹介します。

表 1 「東北 211 号」及び「夢あおば」の主な特性

	東北211号	夢あおば
来歴	・母は「げんきまる」、父は「クサユタカ」。 ・宮城県の多収品種として、平成26年4月に知事特認品種として認定された。	・中央農業研究センター（北陸）において育成された、WCS用イネ・飼料用米の兼用品種。
出穂期	「まなむすめ」より8日程度遅い	「まなむすめ」と同等
成熟期	「まなむすめ」より16日程度遅い『晩生』のうるち種。	「まなむすめ」と同等、『中生』のうるち種。
草型	「まなむすめ」に比べて、稈長はやや長く、穂数は少ない。草型は『偏穂重型』。	「まなむすめ」に比べて、稈長は短く、穂数は少ない。草型は『穂重型』。
脱粒性	難	難
耐冷性	強	弱
耐倒伏性	「まなむすめ」より優り『強』	『かなり強』湛水直播栽培にも適する
収量性	精玄米重は「まなむすめ」の約110%と多収	精玄米重は「まなむすめ」の約108%と多収
千粒重	精玄米は「まなむすめ」より約5.2g大きく、一般品種と見分けがつく。	精玄米は「まなむすめ」より約2.4g大きく、一般品種と見分けがつく。

注) 古川農業試験場作物育種部データ（平成 26～28 年の平均）



実証ほの出穂後の状況 (H27. 8. 30、左: 東北 211 号 (出穂期 8. 7)、右: 夢あおば (出穂期 7. 31))

表 2 特性等一覧

品種名	東北211号			夢あおば		
交配組合せ	東北189号(げんきまる)／クサユタカ			上321／奥羽331号(ふくひびき)		
特性	長所 ・収量性に優れる。 ・耐冷性が“強”と優れる。 ・耐倒伏性が“強”と優れる。 短所 ・タンパク質含有率が低い。			長所 ・収量性に優れる。 ・耐倒伏性が“かなり強”と優れる。 ・白葉枯病抵抗性が“強”と優れる。 短所 ・耐冷性が“弱”と弱い。		
調査地	古川農業試験場	加美町平柳 注4)				
施肥(窒素成分量)	基肥(kg/10a) 7.0 追肥(kg/10a) 4.0 注3)	1.44(平成26年), 1.56(平成27年), 1.30(平成28年) なし				
調査年次	平成26～28年の3力年平均					
移植月日(月日) (機械移植)	5.13	5.15	5.16	5.16	5.16	
苗の種類	乳苗	稚苗	乳苗	稚苗	乳苗	
早晩性	晩生			中生		
草型	偏穂重型			穂重型		
出穂期(月日)	8.12	8. 8	8.13	8. 1	8. 5	
成熟期(月日)	10. 5	9.30	10. 7	9.17	9.22	
稈長(cm)	86.1	94.5	94.6	85.3	87.2	
穂長(cm)	23.3	22.2	22.3	20.4	20.1	
穂数(本/m ²)	388	362	343	319	350	
芒(ぼう)の多少・長短 注1)	中・短			少・短		
穎(えい)色 注1)	黄白			黄白		
脱粒性 注1)	難			難		
耐倒伏性 注1)	強			かなり強		
穂発芽性 注1)	難			中		
耐冷性 注1)	強			弱		
耐病性	いもち 注1)	Pib			Pita-2, Pib	
	真性葉・穂	不明・不明			不明・不明	
白葉枯病 注1)	弱			強		
収量	全重(kg/10a)	1,920	1,910	1,900	1,910	1,950
	粗玄米重(kg/10a)	788	719	721	739	734
	千粒重(粗玄米)(g)	29.2	27.7	27.5	24.7	24.8
玄米タンパク質含有率(%) 注2)	6.8	6.5	6.5	6.7	6.5	

注1) 育成地及び特性検定地における評価。

注2) 粗玄米(平成26年のみ1.9mm以上の玄米)をN社製近赤外米食味品質分析計(6500)で測定。

注3) 減数分裂期(平成26年のみ幼穂形成期と減数分裂期にそれぞれ2.0)追肥。

注4) 3か年とも前作は大豆ほ場。腐菌床(えのき)たい肥1トン/10aを散布。

2) 多収品種の栽培ほ場設定にあたっての留意点

ほ場の設定にあたっては、省力・低コスト化等に向けて、以下の点に留意しましょう。

- ① ほ場の固定化：漏生イネ対策（主食用米への異品種混入）に有効
- ② 大豆等との水田輪作：省力・低コスト化や多収穫、漏生イネ対策に有効
- ③ ほ場の団地化：作業の効率化に有効

3) 栽培管理

① 種子の準備

- 種子は、原則として販売種子を使用します。
※種子の注文については、「9 参考資料（3）」を参照のこと。
- 自家採種する場合は、病害の発生していないほ場を選定し、採種します。
- 充実した種子を確保するため、販売種子であっても、比重選（種子予措）を必ず実施します（表3）。なお、比重選後は必ず水洗いして塩分などを除きます。
- 化学農薬による種子消毒を必ず実施します。

表3 比重選の目安

種類	比重	ボーム度	水10%に対する必要量(kg)	
			食塩	硫安
うるち種	1.13	17	2.1	2.7
もち種	1.08	11	1.2	1.5

② 播種

- 「東北211号」及び「夢あおば」は、一般品種と比べ千粒重が大きい（表4）ため、一般品種と同じ播種量、同じ設定で播種すると苗箱の苗立ち本数が不足し、苗のマット強度の低下や移植時の欠株の発生原因となるため、播種量を割り増しする必要があります。
- 播種量の目安（対ひとめぼれ）
 - ・東北211号：1.2倍程度、夢あおば：1.1倍程度

表4 千粒重等の比較

品種名	千粒重の比較			(参考)玄米千粒重の比較		
	種子予措(比重選)	千粒重(g)	同左対比(%)	篩目(mm)	玄米千粒重(g)	同左対比(%)
東北211号	水選(水道水)	32.8	120	1.9	29.0	126
夢あおば	水選(水道水)	29.8	109	1.9	25.5	111
ひとめぼれ	塩水選(比重1.13)	27.4	(100)	1.9	23.0	(100)

注) 千粒重は平成25年～27年産、玄米千粒重は平成26年産の3か年平均値

③ 施肥

○飼料用米は、収量を確保するため、できるだけ品種の特性を活かして、倒伏しない範囲で多肥栽培を行い、増収を図ります。

○ここでは、「東北 211 号」の増収に向けた施肥法について紹介します。

<「東北 211 号」の増収に向けた施肥法>

○「東北 211 号」で目標収量（720kg/10a、以下同じ）に達した稲は、10a 当たりの養分吸収量が、一般品種（ひとめぼれ）に比べて、窒素で 4 kg、リン酸で 2.5 kg、カリで 9 kg 程度多くなっていますので、その分を稲わら（又は堆肥）の還元や施肥で補う必要があります（図 1）。

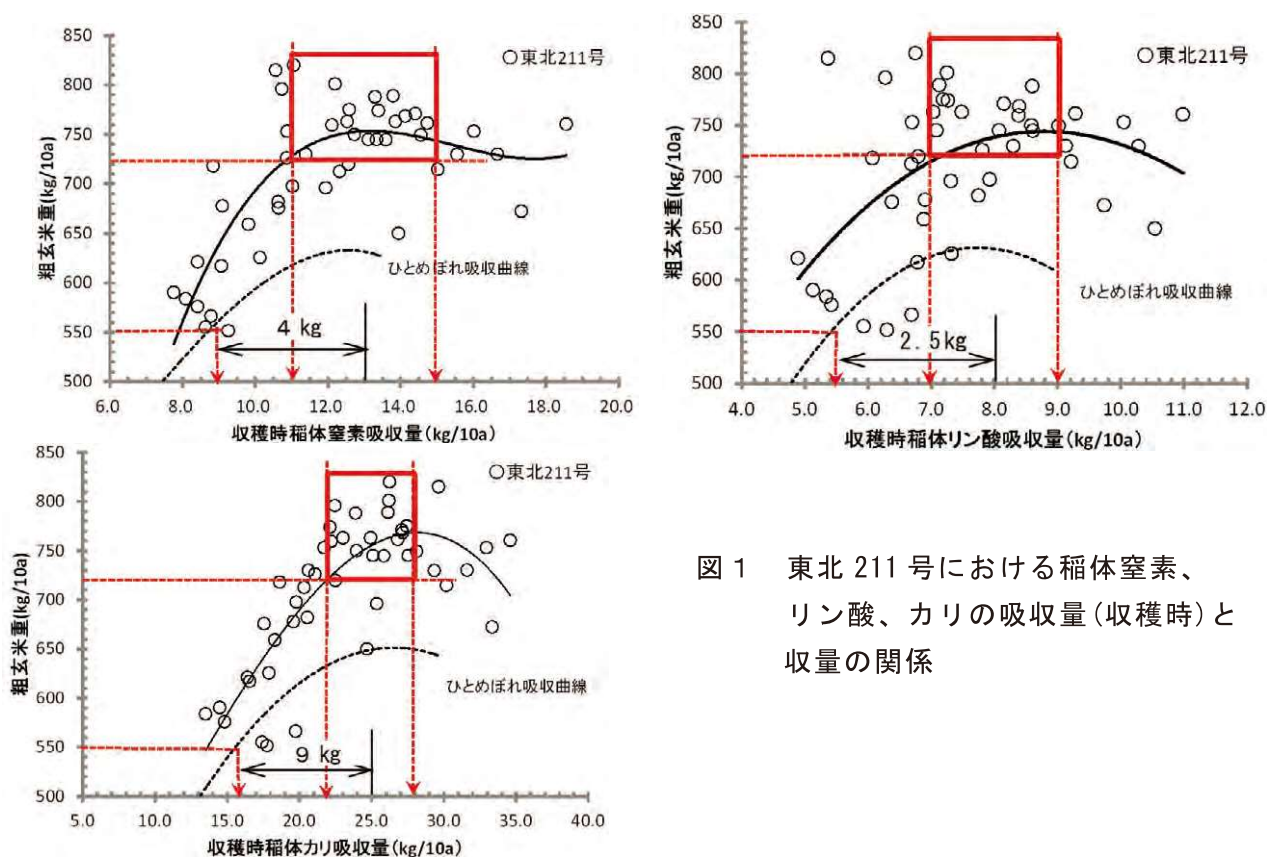


図 1 東北 211 号における稲体窒素、リン酸、カリの吸収量（収穫時）と収量の関係

○「東北 211 号」で目標収量を得るための施肥窒素量の目安は、堆肥・基肥・追肥の合計で 11 kg 程度となります（表 5）。

表 5 「東北 211 号」の施肥窒素量の目安 (kg/10a)

区分	堆肥	基肥	追肥 (減数分裂期)	計
化学肥料のみ	—	7	4	11
堆肥+化学肥料	2	5	4	11

注 1) 堆肥は牛ふん堆肥（全窒素 1%）を施肥窒素量に換算すると 2 kg/10a となる

注 2) 一般品種において、基肥窒素量 5 kg/10a で栽培しているほ場を想定

○基肥＋追肥体系（基肥窒素 7kg、追肥（減分期 4kg））とすることで、追肥をしない場合よりも 20%弱増収します（図 2）。なお、基肥のみで大量に施用すると、倒伏等のリスクが増えるため避けます。

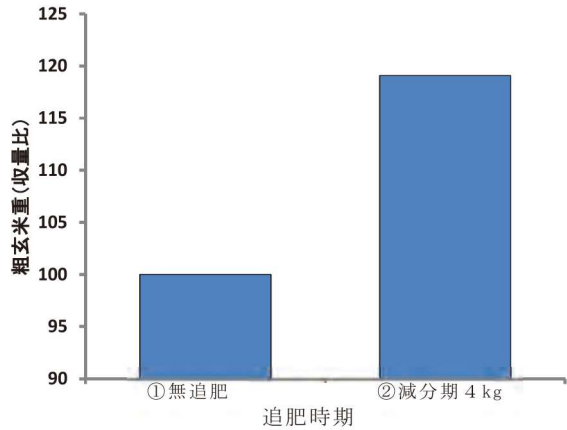


図 2 東北 211 号における追肥時期・追肥量と収量の関係 (H27～28)

注) 10 a あたり施肥窒素量

基肥：7 kg、追肥：①無追肥

②減数分裂期 4 kg

④ 苗の種類・栽植密度

○稚苗と乳苗による収量の差はほとんど見られませんが、成熟期は乳苗の方が 4～7 日遅くなります（表 6）。

表 6 稚苗と乳苗の生育ステージ及び収量の比較

苗の種類	生育ステージ			収量	
	移植日	出穂期	成熟期	粗玄米重(kg/10a)	同左対比(%)
稚苗	5月16日	8月5日	9月24日	729	(100)
乳苗		8月9日	9月29日	728	99.9

注) 平成 26～28 年産の「東北 211 号」「夢あおば」の 3 か年平均値

○「東北 211 号」の乳苗移植で上記施肥により目標収量に達した稲について、栽植密度による差は、慣行（60 株/坪）の方が疎植（45 株/坪）よりも 20 kg /10 a 程度多く、倒伏程度は差が見られませんでした（表 7）。

表 7 栽植密度及び施肥方法による倒伏程度及び粗玄米重の関係

試験年次	牛ふん堆肥春散布 (t/10a)	基肥窒素成分量 (kg/10a)		追肥(硫安)窒素成分量 (kg/10a)	栽植密度 (株/坪)	稈長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏程度(0～400)			粗玄米重 (kg/10a)
		硫安	塩化磷安 284号	減数分裂期				成熟期	11月		
									17日	21日	
H27	1	5	—	—	60	79	395	100	100	—	779
	—	—	7	4	45	80	387	100	120	—	780
	—	—	7	—	60	77	416	100	120	—	800
H28	1	5	—	—	45	86	326	0	—	40	796
	1	5	—	4	60	86	361	0	—	40	815
	—	—	7	—	60	85	373	0	—	140	820

注) 東北 211 号の乳苗の移植試験結果。粗玄米は水分 15%換算。

- なお、規模拡大への対応策として乳苗移植を行う場合、稚苗（18箱/10a）に比べ10a当たりの苗箱数は、乳苗にすることで2割程度削減可能であり、さらに疎植と組み合わせることで、4割程度削減できます（表8）。

表8 苗の種類及び栽植密度と移植苗箱数の関係

苗の種類	稚苗		乳苗
	標準 (60株/坪)	標準 (60株/坪)	疎植 (45株/坪)
栽植密度			
移植苗箱数 (箱/10a)	18.0	14.6	11.1
比率(%)	100	81.1	61.5

注) 平成26～28年の平均

⑤ 病害虫防除

- いもち病、ばか苗病

飼料用米の生産においても、収量を確保するためには、種子消毒や薬剤による適期防除が必要です。特に「採種ほ場」や「特別栽培ほ場」が近接する地域では、周辺ほ場への蔓延や種子伝染の原因になるので、防除を徹底する必要があります。

- 種子消毒

化学農薬により行います。

- 葉いもち

箱施用剤または本田での粒剤施用により予防防除を行います。

「東北211号」は「ひとめぼれ」よりもいもち病が発生しやすいため、発病が認められた場合は直ちに茎葉散布剤による防除を行います。

- 穂いもち

穂いもちは発病してからの防除では効果が劣り、減収につながるため、粒剤施用により予防防除を行います。「東北211号」で葉いもちの発生が確認されたほ場では、穂いもちが発生しやすいので予防防除は必ず行い、気象や発生状況により茎葉散布を実施します。

- 紋枯病

一般品種の要防除水準を参考にして防除の要否を判断します。

- 稲こうじ病

前年多発したほ場では必ず防除を実施します。

○斑点米カメムシ類

発生源とならないよう、水田雑草の防除や畦畔の草刈りを適切に行ない発生防止に努めます。カメムシ類の発生がみられた場合は、周辺の主食用米への影響を防ぐため薬剤による防除を行います。

○イネツトムシ

乳苗、直播栽培のように通常の移植栽培に比べて生育が遅れる栽培法や窒素成分を多施用した水田では発生しやすくなります。食害が著しい場合には収量や品質に影響を及ぼす場合があるので、発生状況に応じて適切に薬剤防除を行います。

○その他の留意点

粃米のまま、もしくは粃殻を含めて家畜に給与する場合は、出穂期以降に使用できる農薬が限られていることに注意します。

(「9 参考資料(1) 飼料米に使用できる農薬と留意点」参照)

⑥ 水管理

○多収品種は、登熟期間が一般品種より長いので、減収要因となる早期落水を避けます。

○落水時期は、出穂後 40 日頃を目安とし、この間、良好な登熟に向けて可能な範囲では場の湛水又は湿潤状態を保ちます。

⑦ 収穫・乾燥(「6 省力・低コスト栽培技術(5) 立毛乾燥」参照)

○「東北 211 号」及び「夢あおば」の成熟期及び刈取早限の目安は次のとおりです(表 9)。

表 9 出穂期以降の積算平均気温からみた成熟期及び刈取早限の目安^{注1)}

区分	東北211号	夢あおば
成熟期	1,110~1,150℃ (10月上旬頃)	1,060~1,090℃ (9月中旬頃)
刈取早限 ^{注2)}	1,210~1,290℃ (10月中旬頃)	1,250~1,290℃ (9月下旬頃)

注 1) 倒伏程度が高い場合を除く。

注 2) コンバイン収穫が可能となる粃水分 25%程度となる時期

【留意事項】

- 刈取晩限は、倒伏や脱粒、鳥害、穂発芽等を考慮し、極端に遅くならないように注意します。
- 収穫は、主食用米を優先し、飼料用米の混入を防止します。
- 多収品種は、茎葉の量も多いことから、作柄が良い場合は、コンバインの作業速度を遅くします。
- 異品種混入等を防止するため、主食用米の作期の調整、乾燥調製施設の計画的な利用を行うとともに、多収品種の作業後は機械・施設の清掃を徹底します。



実証ほの成熟状況 (H28. 10. 11、左:東北 211 号(成熟期: 9/27)、右:夢あおば(成熟期: 9/13))

(2) 一般品種による取組

1) 栽培管理

飼料用米については、収量確保のため、多収品種を導入して取り組むことが基本ですが、諸般の事情により一般品種を選択する場合は、収量性が高く倒伏に強い品種を選び、主食用米に準じた栽培管理を行います(表 10)。

表 10 水稻優良品種

種類	品種名	早晩性	出穂期	成熟期	稈長 (cm)	穂数 (本/㎡)	穂発芽性	脱粒性	耐冷性	耐倒伏性	玄米重 (kg/10a)
うるち種	まなむすめ	中生	8月3日	9月12日	78.7	446	難	難	やや強～強	やや強	586
	げんきまる	やや晩生	8月7日	9月21日	82.1	375	難	難	やや強～強	強	613

注) 令和 5 年度稲作指導指針抜粋。施肥窒素: 基肥 5 kg/10a、減数分裂期追肥 1 kg/10a。

平成 30 年～令和 4 年の平均。収量は 1.8mm で調製し、水分 15%換算とした。

(3) 飼料用米向けの多収品種 (知事特認品種) 「東北211号」栽培ごよみ

<p>○品種名：東北211号 (晩生、うるち種) (飼料用米用の多収品種 (知事特認) として平成26年4月に認定。)</p> <p>○来歴：東北189号 (げんきまる) × クサ</p> <p>ユタカ (宮城県古川農業試験場育成)</p> <p>○品種特性： ・晩熟性 ・脱粒性 難 ・耐倒伏性 強 ・穂発芽性 難 ・耐冷性 強 ・いもち病真性抵抗性 <i>pih</i> ・いもち病偽場抵抗性 不明 (葉、穂)</p> <p>[平成27~28年平均] 乳苗(播内) 稚苗(加美)</p> <p>・移植期 5月14日 8月13日 ・出穂期 8月12日 8月8日 ・成熟期 10月4日 9月30日</p> <p>・稈長 (cm) 82.6 95.0 ・穂長 (cm) 23.1 22.6 ・穂数 (本/㎡) 372 356 ・収量 (kg/㎡) 34.8 31.7 ・収量 (kg/10a) 790 719 ・千粒重 (g) 29.5 27.6</p> <p>注) 収量は粗玄米重、千粒重は粗玄米。</p>	<p>表1 生育ステージと生育量の目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 収量は粗玄米重</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表2 収量・収量構成要素の目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>10a当たり収量</th> <th>720kg以上</th> <th>350~400本</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一穂穀数</td> <td>85~95粒</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>m当たり穀数</td> <td>31~37千粒</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>登熟歩合</td> <td>70~80%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>千粒重 (粗玄米)</td> <td>29.0g</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 収量は粗玄米重</p>	項目	10a当たり収量	720kg以上	350~400本	一穂穀数	85~95粒			m当たり穀数	31~37千粒			登熟歩合	70~80%			千粒重 (粗玄米)	29.0g			<p>表3 飼料用米の農産物検査規格 (品位)</p> <p>等級区分：合格 水分：15%以下 被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下 異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下 異物 (夾雑物等) : 1%以下 混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</p> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	<p>表4 苗の種類別播種量及び育苗日数の目安</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>播種量 (乾粒/g/箱)</th> <th>育苗日数 (日)</th> <th>草丈 (cm)</th> <th>葉数 (枚)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳苗</td> <td>220~250</td> <td>10~14</td> <td>8~12</td> <td>1.3~1.5</td> </tr> <tr> <td>稚苗</td> <td>180~210</td> <td>20~25</td> <td>10~15</td> <td>2.1~2.5</td> </tr> <tr> <td>中苗</td> <td>120</td> <td>30~35</td> <td>13~18</td> <td>3.5~4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 千粒重：約33g (ひとめぼれの約1.2倍)</p>	種類	播種量 (乾粒/g/箱)	育苗日数 (日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	乳苗	220~250	10~14	8~12	1.3~1.5	稚苗	180~210	20~25	10~15	2.1~2.5	中苗	120	30~35	13~18	3.5~4.0	<p>表5 播種量及び育苗日数の目安</p> <p>【普及技術第79、84号参考資料】 ○床土に「無肥料培土」、覆土に「肥料入り人工培土」を使用。 ○無加温出芽が可能、ハウス内に平置き移植確保。 ○生移植前日頃まで二重被覆して育苗を確保。 ※栽培マニユアル「乳苗・疎植栽培参照」</p> <p>【無加温出芽】 ○播種時の十分なかん水と、ベタ張り資材の密閉で乾燥を防止。 ○出芽するまでのハウス内温度は30℃以下を厳守。第2葉が抽出したら除覆。</p> <p>【ハウス内温度管理】 ○緑化期以降の温度管理は、日中25℃以下、夜間10℃程度とし、5℃以下では保温対策を実施。 ○緑化後、床土上の湿度で病害発生を軽減。</p> <p>【フル育苗】 ○床土量は1.2kg/箱まで節減可能。 ○ハウス内の温度は日中20℃前後、夜間5℃以上。 ○緑化後、床土上の湿度で病害発生を軽減。</p> <p>【箱処理剤の施用】 ○処理剤の苗は乾いていること。 ○処理後は少量のかん水で、培土に薬剤をなじませる。 ○移植時における薬剤の落下を防止する。</p> <p>目標事項 ○健苗の育成 (育苗日数) ○適切な基肥 (穂数確保) ○適切な水管理 (穂の健全化) ○適切な追肥 (千粒重確保) ○適切な収穫 (多収確保)</p>																																																																															
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	10a当たり収量	720kg以上	350~400本																																																																																																																																																							
一穂穀数	85~95粒																																																																																																																																																									
m当たり穀数	31~37千粒																																																																																																																																																									
登熟歩合	70~80%																																																																																																																																																									
千粒重 (粗玄米)	29.0g																																																																																																																																																									
種類	播種量 (乾粒/g/箱)	育苗日数 (日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)																																																																																																																																																						
乳苗	220~250	10~14	8~12	1.3~1.5																																																																																																																																																						
稚苗	180~210	20~25	10~15	2.1~2.5																																																																																																																																																						
中苗	120	30~35	13~18	3.5~4.0																																																																																																																																																						
<p>表6 栽培の留意点</p> <p>1. 大粒品種なので播種前に播種量の調整を十分に行い、均一播種に努める。 2. 比重選は、水選 (水道水等) 又は比重を下げて実施するとコスト低減が可能。 3. 浸種は、出芽を揃えるため低温を避け水温10~15℃で積算温度120℃とする。 4. 基肥窒素量は、穂数を確保するため「ひとめぼれ」の1.4倍程度とする。 5. 栽植密度は、60株/坪が安定して多収となるが、45株/坪はコスト低減が可能。 6. 追肥は、安定して多収となる減数分裂期に窒素成分で4kg/10aが適当。 7. 病害虫の発生状況に注意し適正に防除。 8. 籾米等の給与の場合は、出穂以降に使用できる農薬が限られるので注意する。 9. 落水は、良好な登熟を得るため出穂後40日頃を目安とし、ほ場の過乾燥を防止。 10. 刈取早限 (籾水分25%) は10月中旬頃。ほ場で乾燥を進め遅くならないように収穫。</p>	<p>「東北211号」目標値 --- 参考「ひとめぼれ」</p> <p>葉色 (SPAD値)</p> <p>穂数</p> <p>出穂期</p> <p>減数分裂期</p> <p>幼穂形成期</p>	<p>表7 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表8 栽培の留意点 (続)</p> <p>1. 大粒品種なので播種前に播種量の調整を十分に行い、均一播種に努める。 2. 比重選は、水選 (水道水等) 又は比重を下げて実施するとコスト低減が可能。 3. 浸種は、出芽を揃えるため低温を避け水温10~15℃で積算温度120℃とする。 4. 基肥窒素量は、穂数を確保するため「ひとめぼれ」の1.4倍程度とする。 5. 栽植密度は、60株/坪が安定して多収となるが、45株/坪はコスト低減が可能。 6. 追肥は、安定して多収となる減数分裂期に窒素成分で4kg/10aが適当。 7. 病害虫の発生状況に注意し適正に防除。 8. 籾米等の給与の場合は、出穂以降に使用できる農薬が限られるので注意する。 9. 落水は、良好な登熟を得るため出穂後40日頃を目安とし、ほ場の過乾燥を防止。 10. 刈取早限 (籾水分25%) は10月中旬頃。ほ場で乾燥を進め遅くならないように収穫。</p>	<p>表9 播種量及び育苗日数の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>播種量 (乾粒/g/箱)</th> <th>育苗日数 (日)</th> <th>草丈 (cm)</th> <th>葉数 (枚)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳苗</td> <td>220~250</td> <td>10~14</td> <td>8~12</td> <td>1.3~1.5</td> </tr> <tr> <td>稚苗</td> <td>180~210</td> <td>20~25</td> <td>10~15</td> <td>2.1~2.5</td> </tr> <tr> <td>中苗</td> <td>120</td> <td>30~35</td> <td>13~18</td> <td>3.5~4.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 千粒重：約33g (ひとめぼれの約1.2倍)</p>	種類	播種量 (乾粒/g/箱)	育苗日数 (日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	乳苗	220~250	10~14	8~12	1.3~1.5	稚苗	180~210	20~25	10~15	2.1~2.5	中苗	120	30~35	13~18	3.5~4.0																																																																																																				
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
種類	播種量 (乾粒/g/箱)	育苗日数 (日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)																																																																																																																																																						
乳苗	220~250	10~14	8~12	1.3~1.5																																																																																																																																																						
稚苗	180~210	20~25	10~15	2.1~2.5																																																																																																																																																						
中苗	120	30~35	13~18	3.5~4.0																																																																																																																																																						
<p>表10 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表11 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表12 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表13 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表14 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片				
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
<p>表15 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表16 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表17 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表18 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表19 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片				
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
<p>表20 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表21 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表22 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表23 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片					<p>表24 生育ステージと生育量の目安 (続)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>有効茎確保期 (6月24日頃)</th> <th>幼穂形成期 (7月20日頃)</th> <th>減数分裂期 (7月29日頃)</th> <th>出穂期 (8月12日頃)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10a当たり収量</td> <td>720kg以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異物 (夾雑物等) : 1%以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 水分の最高限度は、当分の間1.0%を加算。</p>	項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)	10a当たり収量	720kg以上				被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下					異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下					異物 (夾雑物等) : 1%以下					混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片				
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										
項目	有効茎確保期 (6月24日頃)	幼穂形成期 (7月20日頃)	減数分裂期 (7月29日頃)	出穂期 (8月12日頃)																																																																																																																																																						
10a当たり収量	720kg以上																																																																																																																																																									
被覆粒 (発芽粒、病害粒、芽くされ粒) : 25%以下																																																																																																																																																										
異種穀粒 : 穀3%以下、麦1%以下、粗・麦以外1%以下																																																																																																																																																										
異物 (夾雑物等) : 1%以下																																																																																																																																																										
混入してはならないもの : 土砂 (これに類するもの) : 石、ガラス片、金属片、プラスチック片																																																																																																																																																										